

令和3年度 江戸川区立二之江第二小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	進んで行く二小の子 ◎思いやりのある子 ○やりぬく子 ○元氣な子 ◎考える子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	笑顔があふれ、活力に満ちた明るい学校 子供たちに夢と希望を抱かせ、自立する力を育てる学校 学ぶことの意義が実感できる教育環境を整え、特色ある教育活動を展開する学校
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞ 特別支援巡回拠点校への移行に際し、円滑に準備を進め、充実した特別支援教育を展開することができた。組織的な課題解決を図り、子供たちが笑顔で登校することができるなど、自己肯定感の醸成ができた。 ＜課題＞ 効率的な業務遂行を進め、「働き方改革」を推進する。（会議の削減、集金の銀行振り込み、教材の共有化、定時退勤日の設定、学校管理下外の対応の見直し等）		

教育委員会 重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた 改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
いきいきと学ぶ 学校づくり	確かな学力の向上	・「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・補習による個に応じた指導 ・全国学力学習状況調査・学力の向上を図るための調査に基づいたPDCAの実践	・全国学力調査で昨年度の区平均以上 ・都学力調査で昨年度の区平均以上 ・分かる授業の充実（児童アンケート80%以上）	B	C	・全国学力調査では国語・算数ともに全国平均7点ほど下回った。 ・基礎・基本の定着を図る授業の共通実践のため「二小スタンダード」を作成した。	B	教員の指導力向上等による子供たちの学力ベースアップを期待します。 ・全国平均をひとつの指標（目標）として、学力向上を期待しております。	・基礎基本の徹底を行う。東京ベーシックドリルで到達度を確認する。 ・低学年も引き続き習熟度別算数を実施
	読書科の更なる充実	・読書を通じた探究的な学習の充実（読書科ノートの活用、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等） ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	・読書ノートの活用推進 ・読書ノートの指導計画の作成 ・読書記録カードの活用 ・貸し出し冊数増加のための教師の声掛け ・葛西図書館との連携	・読書アンケートによる、指導の充実80%以上 ・児童アンケートによる、読書意欲の向上80%以上 ・貸し出し冊数の昨年度	C	B	朝読書など、集中して取り組んでいる姿がみられる。 ・年間計画に沿った実施が十分ではない時期があった。図書担当や教務主任中心に進行管理を進めていく。	B	・読書の習慣付けは大切ですが、子供たちは本を読むことは嫌いではないと思うので、よろしく願います。	・読書を通じた探究的な活動が、年間計画通りに進行しているか、読書担当や教務主任を中心に、進捗を管理していく。
	体力の向上	・体育の授業や休み時間における全校運動遊びなど主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・教員・児童外遊びの奨励 ・持久走記録会に向けての取組	・すすんで校庭で外遊びをしている（児童アンケート80%以上。） ・体力テスト全国平均を上回る。 ・体育の主活動時間20分	B	B	・エンジョイタイム、休み時間は外で遊ぶ二小のきまり等で進んで校庭で遊ぶ児童が多い。	B	・コロナもありますが、やはり、外で元気に遊んで、体力を高めてもらいたいです。	・体育での主活動も制限が緩まっている時期に、しっかりと取り組ませる。 ・体力テスト結果の分析に基づいたエン
	オリパラ教育の推進	・「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組、「学校2020レガシー」の設定やオリパラコーナーの充実	・オリパラルームの改善・活用 ・読本（歴史、競技、種目等）の活用した授業（2回以上）	・オリンピック・パラリンピック、伝統文化に関する興味・関心（児童アンケート80%以上） ・教員アンケート指導の充実	B	B	・オリンピックパラリンピックルームに児童の学習内容を掲示し、各学年で展示を見に行く活動を行った。 ・スポーツジャーナリストを招	B	・オリンピック・パラリンピック、テレビ観戦でも、大いに学ぶことがあったと思います。今年は冬季オリンピックも観戦でき子供たちの心に響	・オリンピック・パラリンピックルームをオリンピックパラリンピック2020も観戦としていく
	外国語教育の推進	・授業力の向上とALTの効果的な活用	・担任T1・ALTがT2という授業スタイルの実践	・教員アンケート指導の充実80%以上	B	B	年間70以上の実施する。高学年は、ALTのいる授業も担任がT1を行うという意識をもって授業を行っている。	B	国際化社会においては、小学校のうちから英語に親しめることは重要です。よろしくお願いします。	・引き続き、ALTをT2にしたスタイルで授業実践していく。
	健全育成に向けた取組の強化	・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用	・安全教室、セーフティ教室の実施 ・児童アンケート ・SNS東京ノート ・SCによる5年生全員面接 ・SOSの出し方に関する教育	・いじめ継続案件0 ・保護者アンケートによる、生活習慣や情報モラル意識の向上80%以上 ・SNS学校ルール家庭ルールの達成率90%（児童アンケート）	B	B	・いじめ継続案件は、完全な解決とまではいかないものの、いじめ防止対策委員会で対応を協議し、組織的な対応を行った。また、当該保護者とも連携し、学校の対応策を説明したことにより、事態は収束した。	B	・いじめは、どこでも起こりえると思いますが、校長先生はじめ、教職員みなさんで対応して下さっていることがわかりました。	・いじめ対策防止委員会をはじめ、教職員・保護者・区教委で情報共有しながら、組織的な対応を進めていく。

特別支援教育の充実	特別支援教育の推進	・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の充実	・教職員向け特別支援研修会（年5回） ・臨床発達心理士によるアセスメント（年6回） ・巡回指導教員による研修会の実施・情報交換	・教職員向け特別支援研修会（年5回） ・臨床発達心理士によるアセスメント（年6回） ・特別支援教育の充実80%（教員アンケート）	C	B	・巡回指導やSC専門員らと担任同士でコミュニケーションを密に取っている。 ・巡回指導教員が講師となる校内研修会は1回にとどまった。	B	・先生方の情報網が大切になると思います。大変ですがよろしくお願いします。	・校内委員会にいたるまでに情報を収集 ・共有し、より円滑な打ち合わせができるようにする。 ・巡回指導教員を講師とする校内研修を学期に1度開催する
教員の資質向上	教員研修の充実	・学習用タブレットを活用した授業実施に向けた研修	・ICT補習（年6回） ・教員ICT研修（年3回） ・ICT活用授業の強化	・情報教育の充実80%（教員アンケート） ・タブレットの有効活用80%（児童アンケート）	B	C	・学校SNSルール、家庭ルールの徹底の投げかけを行った。 - また「えとたぶ」ルールの確認も行った。 ・高学年中心にSNSのトラブルが散見された。継続的な指導が求められる。	B	タブレットが貸与され先生方のICTに関する知識が求められるようになりました。大変ですがよろしくお願いします。	・校内研修を引き続き定期的に行い、指導技術の向上を図る。 ・同時に情報モラル教育も組織的に行う。 ・また、「江戸タブレット」「東京都SNSルール」の策定
特色ある教育の展開	地域との連携強化	・蓮田での蓮植え・蓮堀活動の実施	・地域の方との事前打ち合わせ ・進捗状況の報告連絡相談	・地域との連携強化80%以上（教員アンケート）	B	B	・適宜ご助言をいただきながら、蓮田の運営を進めている。 ・コロナ禍で活動が制限されたが、蓮植え、蓮堀りを体験させられたのはよかった。	B	・今年も蓮が育っていて何よりです。伝統を引き継いでいます。	・蓮堀の体験し、地域の方の協力をいただいていることを実感させる活動として、来年度以降も行け属していく。